



*Kano H. photography*

—動画で学ぶ—

クリップオン

ストロボ

Presented by

Kano Hayasaka





# 目次

第1回 クリップオンストロボの基本①

第2回 クリップオンストロボの基本②

第3回 シャッター速度の理解①

第4回 シャッター速度の理解②

第5回 質感のコントロール

A decorative header featuring two overlapping squares, one light pink and one light grey, on the left. To the right is a gold butterfly. The title '目次' is centered in a large, elegant black font. The entire header is framed by two thin, curved lines in a light pink color.

# 目次

第6回 場面別クリップオンストロボの使い方 -オンストロボ-

第7回 場面別クリップオンストロボの使い方 -ロケーション-

第8回 オフカメラライティング①

第9回 オフカメラライティング②

第10回



# 今日の学び

## 第4回 マニュアル発光 VS TTL発光

---

1. マニュアル発光
2. TTL発光



1.

環境光がある場合

～マニュアル発光の時



# ストロボ撮影における前提



## 被写体と背景

**被写体**：ストロボが届く距離

**背景**：ストロボが届かない距離





# ストロボ撮影における前提



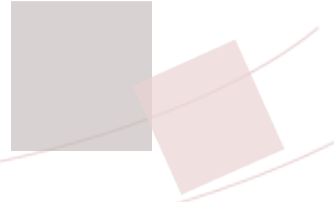
- 被写体と背景の明るさの調整

シャッター速度 : 背景のみに影響する。  
F値 : 被写体と背景どちらも影響する。  
ISO : 被写体と背景どちらも影響する。

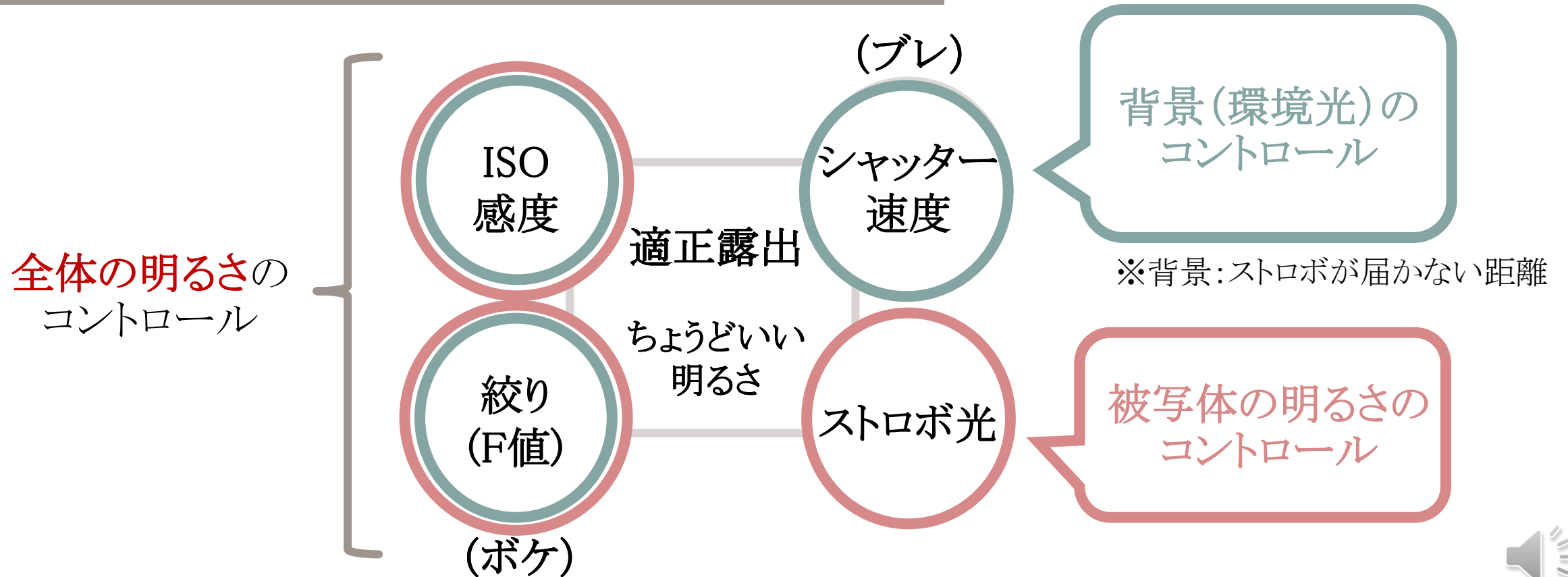
ストロボTTL : どんな時でも被写体の露出を適正に調整



# 環境光あり - マニュアル発光の場合 -



## 明るさ調整の考え方







# 環境光あり - マニュアル発光の場合 -



撮り比べ: シャッター速度

シャッター速度を遅くしていくと...

ストロボなし  
ISO160 1/100 F3.2



背景と被写体のシャドウ部のみに影響。  
それ以外には変化なし

ストロボあり  
ISO160 **1/100** F3.2



ISO100 **1/50** F3.2



ISO100 **1/25** F3.2



# 環境光あり - マニュアル発光の場合 -



撮り比べ: ISO

ISOをあげていくと...

ストロボなし

ISO160 1/100 F3.2



ストロボあり

ISO160 1/100 F3.2



被写体・背景の全体に影響して明るくなった。



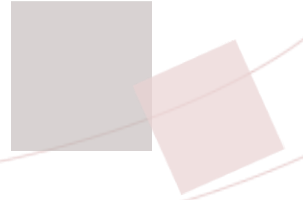
ISO320 1/100 F3.2



ISO640 1/100 F3.2



# 環境光あり -マニュアル発光の場合-



撮り比べ:F値

F値を開いていくと...

ストロボなし  
ISO160 1/100 F3.2



被写体・背景の全体に影響して明るくなった。

ストロボあり  
ISO160 1/100 **F3.2**



ISO100 1/100 **F2.2**



ISO100 1/100 **F1.6**





# 環境光あり - マニュアル発光の場合 -



## 撮り比べ:まとめ

シャッター速度は  
ほぼ背景のみに  
影響。  
F値とISOは全体  
に影響して明るく  
なった。



ストロボあり  
ISO160 1/100 F3.2



ISO100 1/50 F3.2



ISO100 1/25 F3.2



ISO320 1/100 F3.2



ISO640 1/100 F3.2



ISO100 1/100 F2.2



ISO100 1/100 F1.6



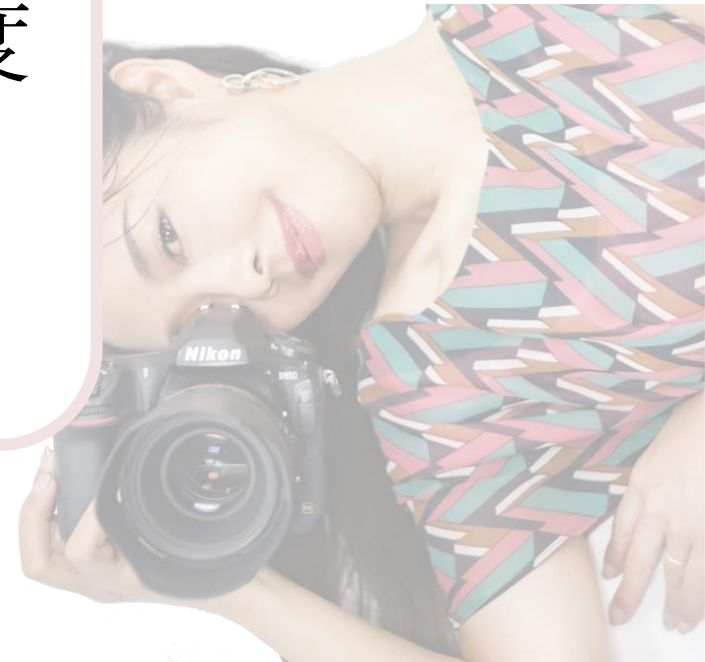


# 環境光あり - マニュアル発光の場合 -



## 明るさ調整の考え方

背景の明るさを変える	= シャッター速度
被写体の明るさを変える	= ストロボ
全体の明るさを変える	= ISO・F値





2.

環境光がある場合  
～ TTL発光の時

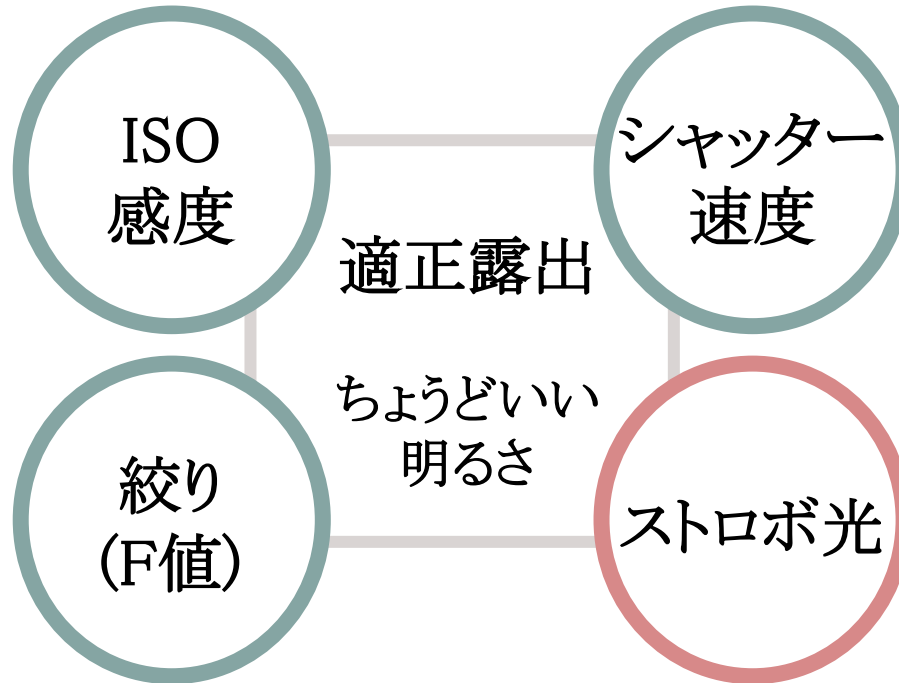




# 環境光あり -TTL発光の場合-



## 明るさ調整の考え方



背景(環境光)の  
コントロール

被写体の明るさを  
自動でコントロール



# 環境光あり -TTL発光の場合-



## 明るさ調整の考え方

ストロボTTLというのは、  
どんな時でも被写体の露出を適正に調整







# 環境光あり -TTL発光の場合-



撮り比べ:シャッター速度

シャッター速度を遅くしていくと...

ストロボなし  
ISO200 1/200 F2.8



ストロボあり  
ISO200 1/200 F2.8



被写体は変わらず、背景のみ明るくなる。



ISO200 1/100 F2.8



ISO200 1/50 F2.8



# 環境光あり -TTL発光の場合-



撮り比べ:ISO

ISOをあげていくと...

ストロボなし  
ISO200 1/200 F2.8



ストロボあり  
ISO200 1/200 F2.8



被写体は変わらず、**背景のみ明るくなる。**  
被写体の明るさはTTL発光でコントロールされているから。



ISO400 1/200 F2.8



ISO800 1/200 F2.8



# 環境光あり -TTL発光の場合-



撮り比べ:F値

F値を開いていくと・・・

ストロボなし  
ISO200 1/200 F2.8



被写体は変わらず、**背景のみ明るくなる。**  
被写体の明るさはTTL発光でコントロールされているから。

ストロボあり  
ISO200 1/200 **F2.8**



ISO200 1/200 **F2.0**



ISO200 1/200 **F1.4**





# 環境光あり -TTL発光の場合-



撮り比べ:まとめ ※クリップオンのオンカメラ時

背景の明るさを  
変える

=シャッター速度・  
ISO・F値

被写体の明るさは  
すべてTTLで制御  
され、変わらない。

ストロボあり  
ISO200 1/200 F2.8



ISO200 1/100 F2.8



ISO200 1/50 F2.8



ISO400 1/200 F2.8



ISO800 1/200 F2.8



ISO200 1/200 F2.0



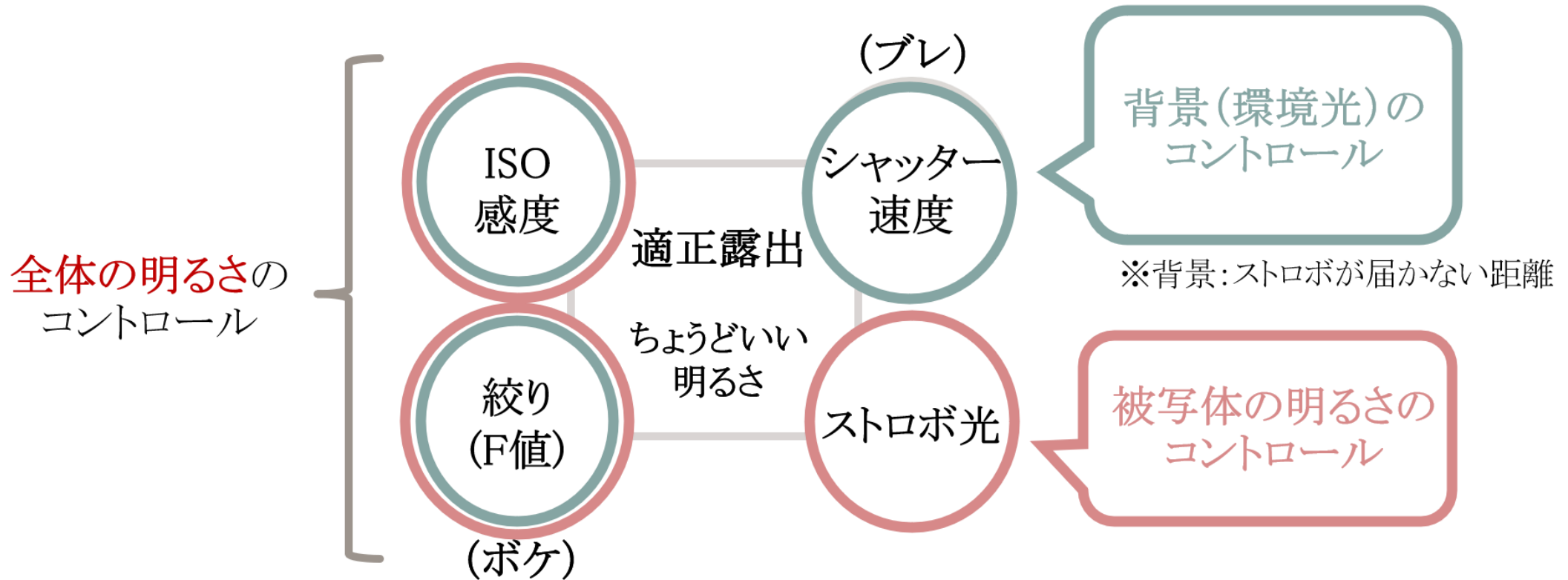
ISO200 1/200 F1.4





# ストロボとシャッタースピードの関係まとめ

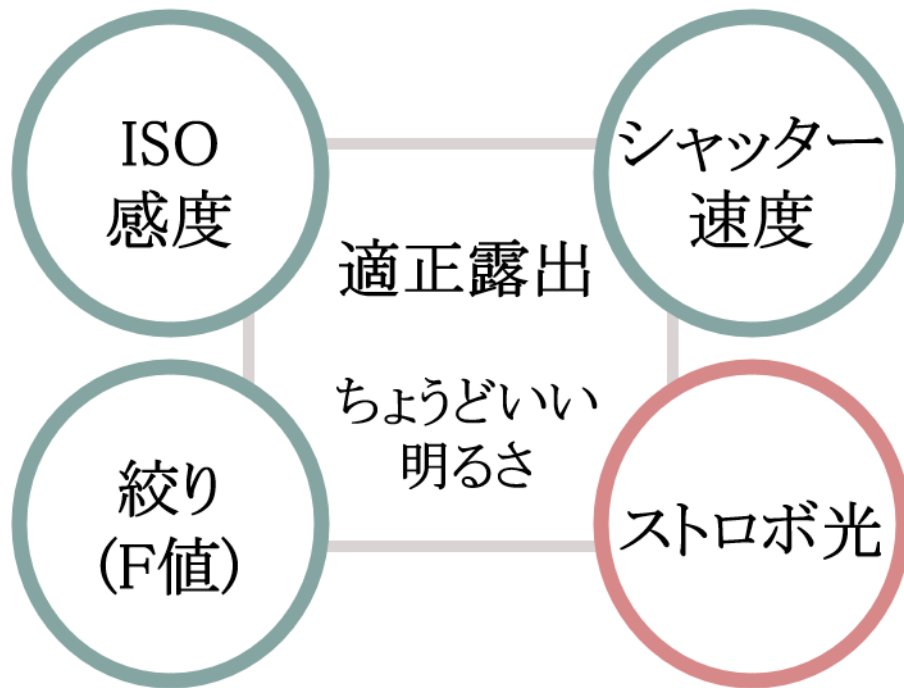
## マニュアル発光





# ストロボとシャッタースピードの関係まとめ

## TTL発光



背景(環境光)の  
コントロール

被写体の明るさを  
自動でコントロール

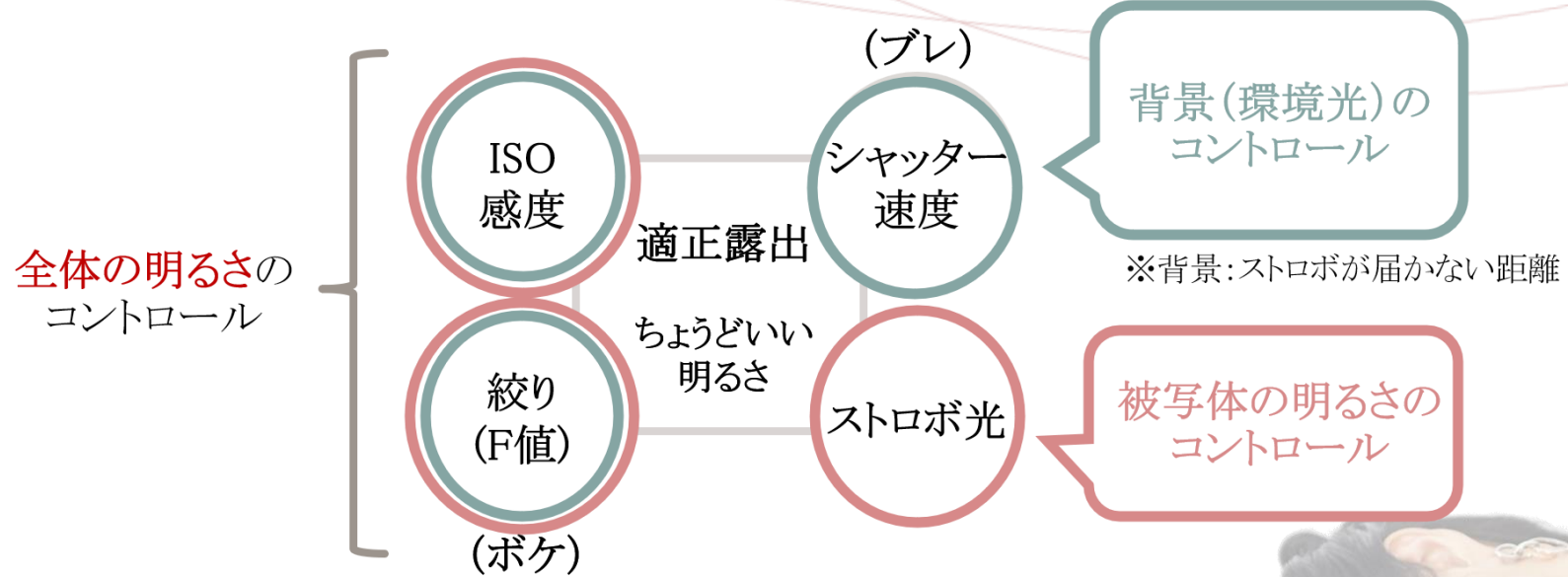




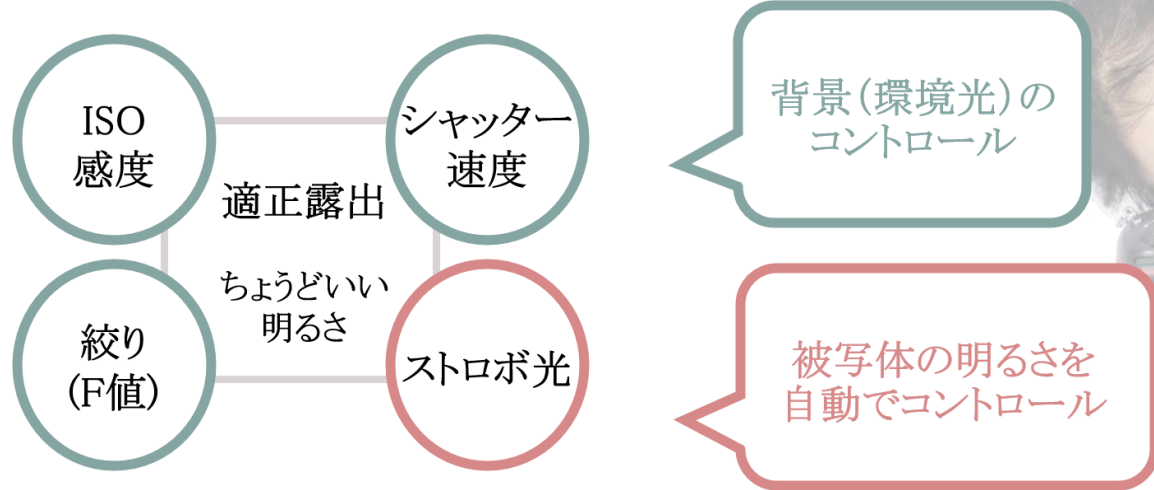
# ストロボとシャッタースピードの関係まとめ



## M発光



## TTL発光





# 環境光あり -TTL発光の場合-



## 明るさ調整の考え方

被写体の明るさは**TTLで固定される**から、  
背景の明るさは、シャッター速度 F値 ISO で調整が可能。

シャッター速度は遅くすると手ブレの原因になるし、

F値はボケが変わるので

背景を明るくするなら、**ISOを変えるのがオススメ。**







# 環境光あり -TTL発光の場合-



明るさ調整の考え方

背景明るさ → カメラ側ISO

被写体の明るさ → ストロボ側調光補正





# 次回の学び

## 第5回 質感のコントロール

---

1. 光の質の理解
2. 質感のコントロール